

あおぞら



医療理念

1. 医療の原点に立った心温まる医療
【Humanism】
2. 高度医療の提供
【High Level】
3. 職員一同連携し仕事を通じての
人間的成長 【High Growth】

目次

新年のご挨拶	2
警察署での医療講演について	4
百合幼稚園クリスマスロビーコンサート	5
体験型医療安全研修会を終えて	6
第7回 地域連携の会アンケート結果	7
外来週間診療予定表	8

医療法人

新年のご挨拶

理事長

大坪 俊夫



新年明けましておめでとうございます。

国民の高齢化は徐々に進行し、団塊の世代が75歳を迎える2025年まであと8年になります。

また日本の全人口も減少を始めており、大きな社会の変化を迎えようとしています。一方、国民医療費は増大、国民皆保険のシステムを守るためにも限りある医療費の効率的な配分が求められています。

昨年4月に診療報酬改定が行われ、当院でも大きな選択を致しました。ひとつは昨年10月から地域包括ケア病床を作ったことです。内科病棟の一部を地域包括ケア病床として運用しております。この病床は急性期疾患の治療後、在宅医療への橋渡しをすること、軽い急性期疾患の直接の受け皿になること、レスパイト入院の受け皿などを目指しています。そのため入院が長くなる方の中には、院内で転床して頂くことが多くなると思いますので、その時はご容赦下さい。

ふたつめに集中治療室(ICU)を高度治療室(HCU)へ変更しました。ICUの患者入室の条件が厳しくなったための名称変更になりますが、治療内容およびスタッフには十分な治療・看護を受けられるようになっておりますのでご安心ください。

地域医療における当院の役割として、これまで通り地域の中核となる急性期医療を担うことを目指しています。加えて今後の地域包括ケアシステムの中で、在宅医療へのスムーズな移行ができるような体制を整えていくことも必要と考えています。

当院は救急告知病院であり、時間外の救急についても、できるだけ受け入れ責任を果たしていきたいと思っております。また地域内で治療を完結するため、これまで通り、診療が終了すればかかりつけ医へ逆紹介をするのを基本方針として、病診連携を大切にしていきたいと考えております。地域医療構想が策定され、長崎県の医療供給体制を再構築していく中において、皆様に支持して頂ける病院であり続けるように、患者第一に考える病院として最新の医療を届けるよう頑張っていきます。

今年は酉年です。地域の皆様の健康を守るために、我々光晴会病院職員一同、力強く羽ばたき飛躍の年になるように努力を重ねて参りますのでご支援よろしくお願い致します。



新年のご挨拶

病院長

岡田 和也



「患者さんのケアに繋がる 相互連携推進のために」

“地域包括ケアシステムにおける位置づけを認識しながら、「治し支える医療」に貢献できるよう努力を重ねたいと考えています”

明けましておめでとうございます。地域の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

去年は、熊本県や鳥取県などで地震が多発し、熊本地方では最大震度7の大きな地震が相次いで発生しました。熊本市民病院では病棟に亀裂が入るなどして、全入院患者約300人を転院か退院させる事態になるなど、医療機関にも大きな被害がでました。被災地では、倒壊したままの住宅や寸断された道路が未だ多数残っており、一日も早い復興を願うばかりです。

2025年以降に到来する超高齢社会を目前に控え、地域で最も適した医療供給体制を構築するための「地域医療構想」が策定されつつあります。今後は患者さんを各地域でケアするために、今置かれている環境のなかで地域全体がいかに高いパフォーマンスを発揮できるかが重要になってくると思われまます。これからの医療は病診連携さらには病病連携がいつそう強

化され病院完結型から地域完結型への転換がこれまで以上に重視されると言われています。当院も安全な医療と地域の皆様方からの信頼を重んじる姿勢を最も大切にしながら、時代に合わせて変化していかなければならないと考えています。

当院では昨年10月1日より地域包括ケア病床30床を導入し、ICUはHCUへと変更されました。地域包括ケア病床では急性期の治療を終えた患者さんを受け入れるいわゆる「ポストアキュート」だけでなく、在宅で病状が悪化した患者さんの受け皿となる「サブアキュート」としての働きも重要と考えています。また、在宅介護などで介護される方が介護力の限界を超え、介護不能となることを予防するための「レスパイト入院」を受け入れることも中規模病院のはたす大きな役割の一つと考えています。

これからも地域の先生方と連携しWIN-WINの関係を築き続けながら、地域全体が矢束となる一助ができればと考えています。地域包括ケアシステムにおける当院の位置づけを常に認識しながら、地域医療に少しでも貢献できるよう真摯に努力を重ねていく所存ですので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

警察署での 医療講演について



心臓血管センター長 蒲原 啓司

昨年4月、9月に警察署での医療講演という貴重な機会を頂きました。4月は時津署、9月は浦上署という光晴会病院周辺で過酷な業務をこなされている警察官の皆さまが対象でした。講演内容は「大動脈疾患の現状とその予防法とは」というテーマで行いました。

過去20年以上、ほとんど寄り道もせず臨床外科医として手術治療を自分の仕事として働いてきた私が、今回、予防医学の話をさせてもらおうと思ったきっかけは、ある医療機器メーカーの商品説明会で目にした厚生労働省発行の人口動態統計に関する1枚の資料でした。そこには、大動脈瘤、解離といった私が専門で扱う大動脈疾患関連

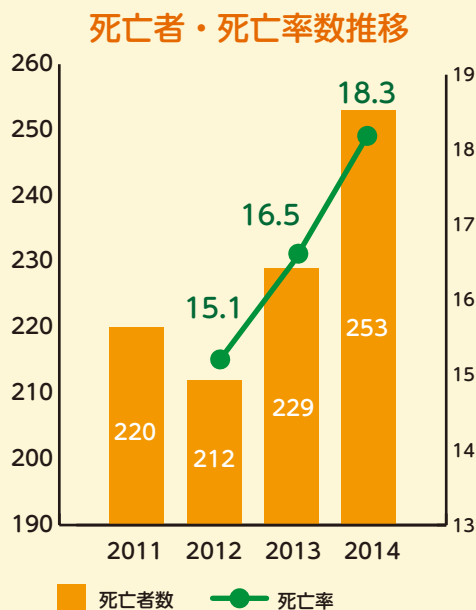
の全国年間死亡者数と都道府県別死亡者数の推移が記されていました。私としては、当然、ご当地長崎県と出身地佐賀県が気になりました。見てみますと何と長崎県は、全国ワースト3位というショッキングな結果でした。ちなみに佐賀県13位です。この結果をうけて、私としては、治療面での新たな術式の導入といった取り組みだけでは限界があると感じました。

大動脈疾患は、特別なものを除けば動脈硬化が原因です。つまり、生活習慣改善といった自己管理で発症自体を減らし得る疾患なのです。そういった意味では、診断、治療のみでなく予防に関する啓蒙活動が大事であると気づきました。そう

瘤

大動脈瘤及び解離による死亡者数の推移

解離



死亡者・死亡率 (人口10万対)

県	死亡者数	死亡率	順位
福岡	710	14.1	25
佐賀	132	15.9	13
長崎	253	18.3	3
熊本	325	18.2	4
大分	156	13.4	28
宮崎	158	14.2	22
鹿児島	301	18.1	5
沖縄	139	9.9	45
全国	16,423	13.1	-

長崎は
なんと
第3位!

参考：平成26年 厚生労働省 都道府県別 主要死因別死亡者数

感じていたさなかに、激務、不摂生の代表格(あくまで私のイメージです)である警察官の皆さまに話をさせてもらう機会を頂いたことは、私にとっても絶好のチャンスでした。

最初の時津署では、さすがに緊張しました。特に講演開始前に署長さんの号令のもと皆さまが揃って、私に対して起立、敬礼をして頂いた時は思わず深々とお辞儀をし「どうもすみませんでした」と言いそうになりました。講演内容としては、まず、大動脈疾患に関する基礎的な話をして、いかに恐ろしい病気であるかを理解してもらい、続いて日頃の日常生活の中でどのような予防法があるかを紹介しました。といっても特別なことではなく動脈硬化対策、つまりは高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙、飲酒、運動不足、肥満といった危険因子をいかに軽減、改善するかという、ごく当たり前の内容ではあります。ただ、大動脈疾患の恐ろしさを理解頂いた後ということで、屈強な警察官の皆さまに

対しても効果倍増の手ごたえはありました。狙い通りです。2回目に浦上署では、起立、敬礼に対してもひるむことなく狙い通りの話ことができました。

今後は、講演の機会があれば、どこにでも出向き様々な方々にお話しをして、少しでも大動脈疾患に対して地域の皆さまが理解して頂けるよう積極的に活動していきたいと考えております。もし、大動脈疾患に関して、興味がある方がおられましたら遠慮なく光晴会病院心臓血管外科までお問い合わせください。

加えまして、私の本分であります循環器疾患診療におきましても、今後も、より安全で効果的な治療法を導入し、今まで以上に精進していく所存です。ですので御指導、御鞭撻のほど、よろしく申し上げます。最後になりましたが、このような貴重な機会を設定しお手伝い頂いた当院小ヶ倉顧問はじめスタッフの皆さまに、この場を借りて御礼申し上げます。

百合幼稚園

クリスマス ロビーコンサート

H28年12月9日(金)百合幼稚園年長組の園児さんたち(男児37名、女児30名)によるロビーコンサートが行われました。クリスマスにちなんだ楽しい歌やダンス、ハンドベルの演奏も披露して頂き、患者さまはもとより職員も心癒されるひと時となりました。最後は園児さん手作りのメダルを首にかけて頂き、みなさんニコリとした笑顔で楽しんでいました。



体験型医療安全 研修会を終えて

安全対策室 岩田 直美

2016年度 医療安全院内研修会(前期)を10/14と11/11の2日間開催しました。
全職員を対象とした体験型研修の取り組みは今回で2回目になります。

研修内容

①インシデント報告システム(SafeMaster)

入力手順

パワーポイントに音声を入れたものを繰り返し再生し、職員が都合のよい時間に受講できるようにしました。入力方法を理解することで、より多くの報告があがってくることを期待して取り入れました。

②医療機器体験

5種類の人工呼吸器の取り扱いの説明、マスクを実際に当てる患者体験を行いました。

アンケートでは「体験することで患者さんの負担を実感できた」「使用上の注意を直接質問できて理解が深まった」などの感想があり好評でした。

③患者誤認防止シミュレーション

事務職員向けに患者確認シナリオを作成し、体験者と観察者に分かれてグループでシミュレーションを行いました。看護部以外の職種でのシミュレーション企画は初の試みでしたが、参加者はグループ内で同じ体験を共有し、患者確認の重要性を再確認することができたようでした。

今後さまざまな場面や対象を想定し、「患者誤認防止シミュレーション」を継続していきたいと思えます。

④高齢者擬似体験

2014年度に一度取り組み、今回2回目の実施ということで前回体験していない職員が参加しました。高齢者の方への声かけや配慮の必要性はこのような体験で実感できると考えます。

⑤医療安全ポスター&クイズ

「患者誤認防止」をテーマに薬剤科・臨床検査科・画像診断科・医事課がポスターを作成し掲示しました。患者誤認防止の取り組みを全職員に伝えることで院内全体の患者確認の意識を高めることをねらいとしました。また、医療安全に関して職員として知っておかなければならない事をクイズとして出題しました。

今年度は、①を全職員必須項目とし、また職種によって参加項目を設定しました。更に5項目のうち2項目体験すれば参加とみなすというルールのもと、全体で93%の参加率でした。今後も全職員にとって有意義な研修となるような企画運営に努め、安全な医療が行われるよう働きかけていきたいと思えます。



第7回

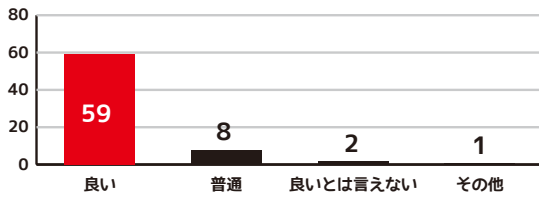
地域連携の会 アンケート結果

(回収率 75.5%)

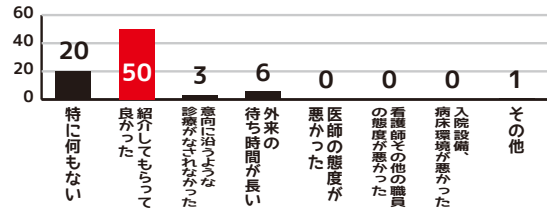


平成28年11月10日(木)長崎ロイヤルチェスターホテルにて『第7回地域連携の会』を開催致しました。日頃お世話になっております地域の医療機関の先生方をはじめたくさんの皆様にご参加頂き誠にありがとうございました。今回皆様にご協力いただきましたアンケート結果をご報告させていただきます。貴重なご意見として今後の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

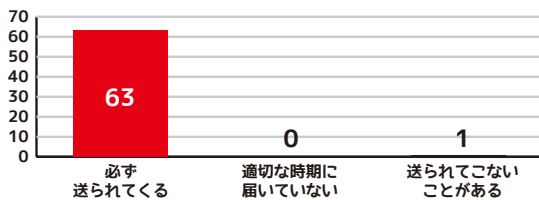
問1 問い合わせ、紹介をしていただく際の当院の対応について（複数回答可）



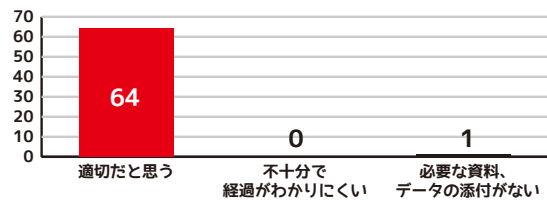
問2 光晴会病院に紹介をされた患者さまからの当院への評価について（複数回答可）



問3 医師からの連絡状、返事について



問4 連絡状、返事の記載内容について



問5 連絡状、返事等について改めて欲しいこと、要望について

- CD-Rを添付頂ければ幸いです。
→原則は添付しておりません。あじさいネットに加入しておられる方はそちらで閲覧ください。必要な場合はお知らせして頂ければ個別に送付致します。
- 患者さまというのはデパートや銀行のお客様には使うけど医療ではモンスターpt、クレイマーを産むものになっている。
→専門家でも指摘されているところもあり、当院でも検討中です。
- 診療情報書について当院に紹介される時は今後の予後についての説明を十分にしたいです。
→医局会で周知いたします。
- 貴院紹介後、他院へ(大学病院など)へ更に紹介された場合、経過が不明な事がある。
→医局会で周知いたします。

問7 今後希望されるプレゼンの内容や、会のあり方について

- 医師中心の講演であったため、地域との関わり等に関してコメディカルからの話等を今後聞けたらと思います。
- 演題がすごく専門的な医学的内容なので、医師以外には理解しにくい。他の分野(事務やコメディカル)の関連演題もあれば聞き易い。
→今後の参考にさせていただきます。

問6 日頃当院との連携において感じていることや、意見・感想など。

- 通常の外来の紹介はちゃんと対応されていると思います。内科の開業医の立場として、意見をさせてもらうと急な入院のお願いについてですが、取りあえず患者さんを受け付けてもらいたいということです。急に入院等をお願いする時は、それなりに症状が重症であったり、症状はさほどは無くても不安感などから大きな病院で検査・加療を受けて安心感を得たいと考えておられます。患者さんの目の前で入院のお願いをしている訳ですので電話のやりとりを聞いていらっしゃる訳で、そこで患者の重症度等を尋ねられたりすると、私も患者さんも困ったなという感じになります。希望としては取りあえず診察して頂いて「入院するまではないでしょう」などという言葉をお患者さんにかけてもらいたいのですが…。近くのN病院はほとんどの場合「すぐいらして下さい」といって受け付けてくれます。
→医局会で周知いたします。
- これまで数回出席して、そのつどアンケートに記入したが当方の要望が伝えられたかどうか返事がない。もちろん公開した形でのよいのであるが、それすらない。したがってアンケートに答える気が進まない。
→あおぞらに公開しています。
- CT検査患者さんが多いのですね。最近予約がとりにくいですね。
→ご迷惑おかけしています。

外来週間診療予定表

土曜日は基本、内科は休診ですが緊急のみ当番制で対応します

平成 29 年 1 月 1 日現在

		月	火	水	木	金	土
内科	3 診	田浦直太 (消化器)	原口雅史 (消化器)	吉岡正人 (一般内科)	原口雅史 (消化器)	柴田雄一 (一般内科)	心療内科 (午前) 不定期休み
		福田康弘 (消化器)					
	4 診	宮崎健一 (腎臓・一般内科)	柴田龍二郎 (腎臓・一般内科)	福田康弘 (消化器)	大坪俊夫 (腎臓・膠原病)	柴田龍二郎 (腎臓・一般内科)	
		河野仁寿 (呼吸器)	森川伸雄 (呼吸器)	河野仁寿 (呼吸器)	森川伸雄 (呼吸器)	河野仁寿 (呼吸器)	
6 診	和泉元衛 (甲状腺・肥満)	せのおたけまさ 妹尾健正 (消化器)	柴田雄一 (一般内科)	せのおたけまさ 妹尾健正 (消化器)	和泉元衛 (甲状腺・肥満)	和泉元衛 (甲状腺・肥満)	
循環器 内科	7 診	武野正義	石崎正彦	(再診のみ) 片山敏郎	武野正義	石崎正彦	
心臓血 管外科	8 診	(新患紹介) 蒲原啓司	(新患紹介) 高木 淳	(新患紹介) 高木 淳	(新患紹介) 古賀秀剛	蒲原啓司	古賀秀剛
泌尿 器科	9 診	山下修史	堀 建夫	山下修史	大学医	堀 建夫	緊急症例のみ
外科	10 診	岡田和也	岡田和也	大学医	すすむ せいや 進 誠也	川上俊介	隔週 岡田和也 川上俊介
	11 診	岸川博紀	ながわかんたく 永川寛徳	岸川博紀	岸川博紀	吉本浩 (形成外科)	
					カーペンターいづみ	すすむ せいや 進 誠也 (おなかのヘルニア) (脱腸) 専門外来	
【午後】 14:00 ↓ 16:00	3 診			吉岡正人 (一般内科)	吉岡正人 (一般内科)		
	4 診		大坪俊夫 (CKD 専門)				
	8 診		第 1.3.5 週 13:00 ~ 15:00 高木 淳 (下肢静脈瘤専門)				
糖尿病センター 9:00 ~ 12:00		赤澤昭一 荒木 萌 フットケア	赤澤昭一 世羅康徳 フットケア	赤澤昭一 世羅康徳 フットケア	赤澤昭一 世羅康徳 フットケア	赤澤昭一 世羅康徳 フットケア	

◎大坪医師の火曜日午後は腎臓病疾患専門外来です

※ 診 療 科 目：内科・外科・泌尿器科・循環器科・心臓血管外科・消化器科・神経内科・リウマチ科・リハビリテーション科・呼吸器科・腎臓内科・形成外科・麻酔科・肛門外科・糖尿病内科

※ 診療受付時間：午前 8：30 より 午前 11：30 まで ※ 予約制ですので、できるだけ予約をお願い致します。

光晴会病院 地域医療連携室 TEL 095-857-3563 (直通) FAX 0120-573-632 (直通)

(コミュニケーションマガジン) 編集委員

編集・発行責任者：岡田 和也

編集スタッフ：平瀬 (地域医療連携室) 松尾 (医事課)

若杉 (クラーク課) 吉野 (臨床検査科)

西 (南 5 階) 岩下 (南 4 階)

医療法人 光晴会病院

〒 852-8053 長崎市葉山 1 丁目 3 番 12 号

TEL 095-857-3533 FAX 095-857-2572

http://www.kouseikai.org/